

# 総務部防災安全課

## 1 非常備消防関係

### (1) 消防団

ア 団員異動状況（令和2年3月31日現在）

分団数	団員数			定員
	入団	退団	現員	
28分団	23人	8人	539人	544人

### イ 行事

(ア) 6月16日 第15回米子市消防ポンプ操法大会（鳥取県消防学校）

a ポンプ車操法の部

優勝 夜見分団、準優勝 成実分団、第3位 淀江町第1分団

b 小型ポンプ操法の部

優勝 福生東分団、準優勝 河崎分団、第3位 車尾分団

(イ) 7月7日 第65回鳥取県消防ポンプ操法大会（鳥取県消防学校）

a ポンプ車操法の部 夜見分団 優勝 成実分団 5位

b 小型ポンプ操法の部 福生東分団 優勝 河崎分団 9位

(ウ) 1月5日 米子市消防出初式（米子市文化ホール）

(エ) 3月1日 米子市消防団・米子消防署合同消防演習（鳥取県消防学校）

(オ) 随時 女性消防団員の防火・防災予防広報（自治会、イベント等）

### ウ 消防団員教育訓練

(ア) 米子市主催のもの

a 5月12日 消防ポンプ操法研修会（鳥取県消防学校）

b 5月22日 米子市消防ポンプ操法大会審査員説明会（西部消防局）

c 8月18日 南部・箕蚊屋・淀江町ブロック救急訓練及び規律訓練（鳥取県消防学校）

d 9月10日 消防団水防訓練（西部消防局）

e 10月6日 弓浜ブロック救急訓練及び規律訓練（鳥取県消防学校）

f 10月20日 中部ブロック救急訓練及び規律訓練（鳥取県消防学校）

(イ) 鳥取県消防学校入校によるもの

a 4月20日・21日 消防団員基礎教育（第72期）

b 5月11日・12日 消防団員特別教育・消防操法指導科（第42期）

c 9月14日 消防団員専科教育・警防科（第48期）

d 10月12日 消防団員専科教育・機関科（第54期）

e 11月30日・12月1日・8日 応急手当普及員講習

f 2月8日 消防団員幹部教育初級幹部科（第42期）

g 2月15日・16日 応急手当指導員講習

エ 報酬及び費用弁償

(単位：円)

階級 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬年額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
機関員加算	ポンプ自動車機関員報酬年額 13,300 可搬ポンプ機関員報酬年額 7,800						
費用弁償	出場、訓練、警戒等 1回につき 2,800						

オ 表彰等 (主なもの)

表彰等の種類		階級	氏名
消防庁長官表彰	永年勤続功労章	分団長	福井 秀人
日本消防協会会長表彰	功績章	団長	杉尾 繁樹
		副団長	吉田 力
	勤続章	副団長	吉田 力
		分団長	稲倉 隆
		分団長	盛村 誠
		副分団長	堀尾 道明
		部長	花田 武
		班長	藤山 嗣文
		班長	武田 稔
		班長	柴崎 亮彦
		団員	吉下 光好
団員	林原 俊朗		
鳥取県知事表彰	功労賞	副分団長	森田 学
		副分団長	田中 剛
	功積章	部長	富田 政春
		班長	小原文 男
		班長	濱中 和則
		班長	片上 信行
		班長	福長 正樹
		班長	椋田 義仁
		班長	潮 隆博
		団員	清水 光男
		団員	廣江 智
団員	橋本 伸二		
団員	大太 勇三		

表彰等の種類		階級	氏名
鳥取県消防協会長表彰	功労章表彰	副団長	吹野悦郎
		分団長	岩村茂
		副分団長	福景大基
		部長	石原憲影
		班長	高橋誠一
		団員	土井良一
		団員	本田久夫
鳥取県消防協会長表彰	勤続賞	分団長	島本弘
		部長	青戸淳一
		班長	矢倉克彦
		班長	岩田輝男
		班長	野坂貢弘
		班長	菊池康裕
		班長	富田行博
		班長	原田明
		団員	鷺見浩

(2) 消防施設関係

ア 消防水利施設整備

火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うため、上水道消火栓の増設、補修を行った。

(ア) 上水道消火栓増設

(イ) 上水道消火栓補修

イ 消防団施設等整備

米子市消防団加茂分団車庫の建替えを行った。

ウ 消防車両等整備

米子市消防団に配備している消防ポンプ自動車のうち、老朽化の著しい車両について、新規購入し更新した。

(ア) 更新車両

米子市消防団富益分団に配備されている車両。

(イ) 規格(型式) CD-1型、A-2級

2 防災関係

(1) 県内統一土砂災害防災訓練

県と連携した土砂災害に係る情報伝達訓練を実施し、土砂災害防災力を向上した。

ア 実施日 令和元年6月3日(月)

イ 実施場所 防災安全課

(2) 米子市防災訓練

明道地区において、洪水や土砂災害を想定した防災訓練を実施し、一連の災害対応手順を確認するとともに

に、住民の防災意識や地区の防災力を向上させた。

ア 実施日 令和元年5月26日(日) 8:45~11:30

イ 実施場所 明道地区、明道公民館、明道小学校

(3) 防災行政用無線

平成28年度から令和元年度までの4箇年で全市を整備する計画をたて、令和元年度の工事をもってデジタル更新工事が完了した。

令和元年度総事業額424,899,107円(うち防衛事業補助額99,099,000円)

(4) 非常用発電機

平成29年度から令和元年度までの3箇年で、庁舎防災用の非常用発電機を整備する計画をたて、令和元年度の工事をもって整備が完了した。

令和元年度総事業額111,477,425円

(5) 自主防災組織の育成

地域住民が、それぞれの立場、役割に応じて、隣保共同の精神に基づき自主的な防災活動を行うための自主防災組織の育成に努めた。

令和元年度には新たに49団体が結成され、1団体の解散があり、米子市全体で336組織となった。

ア 令和元年度新規結成組織(米子市自主防災組織結成補助金を交付した団体)

名称 東山町防災会、陽田町防災会、奥陰田防災会、天神町2丁目防災会、灘町1丁目防災会、観音寺新町2丁目防災会、観音寺新町4丁目防災会、加茂3区上防災会、加茂3区中防災会、加茂6区防災会、三柳団地3区防災会、福生東4区防災会、福生東5区防災会、福生東9区防災会、福生東14区防災会、福生西2区防災会、福生西3区防災会、福生西4区防災会、福生西5区防災会、温泉1区防災会、温泉2区防災会、山地1区防災会、米原2区防災会、前地2区防災会、上谷1区防災会、下谷1区防災会、新開東1区防災会、新開東2区防災会、新開西1区防災会、彦名1区防災会、彦名5区防災会、彦名12区防災会、彦名14区防災会、崎津2区防災会、上口防災会、美保ヶ丘防災会、和田9区防災会、美吉2区防災会、宗像防災会、宗像ニュータウン防災会、グリーンヒルズ日原防災会、青木防災会、茶屋防災会、実久防災会、東蚊屋防災会、二本木防災会、二本木東防災会、浦津防災会、海川防災会、

(ア) 世帯数 4,884世帯

(イ) 助成額 2,413,800円

イ 令和元年度自主防災組織育成補助金 交付実績

(ア) 交付件数 122件

(イ) 交付合計額 2,236,000円

ウ 令和元年度米子市防災研修会

市民の防災意識の啓発・向上を目的に、兵庫県立大学減災復興政策研究科准教授の阪本真由美氏の講演を行った。

(ア) 開催日時 令和2年2月16日(日)

(イ) 開催場所 米子市福祉保健総合センター 大会議室

(ウ) 参加者 130人

### 3 災害関係

(1) 台風第10号(8月15日)

ア 米子市災害警戒本部（８月１５日）

イ 自主避難所開設 １２施設

(2) 台風１７号（９月２２日～２３日）

米子市災害警戒本部（９月２２日～２３日）

#### 4 台風１９号に係る支援等

(1) 職員派遣（計４名）

全国知事会から要請を受け、被災地である長野県飯山市に職員を派遣した。

ア １０月２２日から２６日

住家被害認定調査業務 ２名

イ １０月３１日から１１月５日

罹災証明発行事務支援業務 ２名

(2) 義援金

本庁舎（総合窓口）、淀江支所地域生活課に義援金箱を設置。（１０月１８日から１２月２７日）

日本赤十字社に、義援金合計２１４,２３９円を送付。

#### 5 防犯対策関係

(1) 米子市防犯協議会総会

５月１７日、市役所本庁舎５階議会第２会議室で開催した。

会 長 福 景 順 一 （米子市自治連合会長）

副 会 長 北 村 軍二郎 （米子市自治連合会副会長）

〃 田 後 良 文 （米子市社会福祉協議会長）

〃 長 尾 修 （米子市学校校外指導連絡協議会長）

(2) 防犯灯設置費等補助金の交付

各自治会防犯灯の設置等について助成を行った。

ア 新設 ６０基 １,３２９,０５２円

イ 光源装置のLED化 ４１８基 ４,１６５,０００円

ウ 照明器具の取替 ２７基 １８９,０００円

エ 移設 ６基 １０１,４００円

(3) 防犯灯電灯料補助金の交付

各自治会防犯灯の電灯料について助成を行った。

５,３６９灯 ７,４５３,９１６円

#### 6 水難事故防止対策関係

(1) 米子市水難防止協議会総会

令和元年５月３０日、市役所本庁舎５階議会第２会議室で開催した。

会 長 伊 木 隆 司 （米子市長）

副 会 長 高 野 和 男 （米子市自治連合会長）

(2) 広報用チラシ・ポスターの配布

ア 広報用チラシを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園に人数配布した。

イ 広報用ポスターを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園、公民館に掲示した。

## 7 米子市防災会議

米子市地域防災計画及び広域住民避難計画の修正について審議し、計画を見直した。

- (1) 開催日 令和元年6月3日(月)
- (2) 開催場所 米子市立図書館 多目的研修室

## 8 原子力防災関係

### (1) 防災訓練の実施

万が一島根原子力発電所において緊急事態が発生した場合に、住民避難を迅速かつ的確に実施し、住民の生命、身体等を保護する目的で、鳥取県、島根県、島根原発関係市及び関係機関と合同で、原子力発電所事故の通報を受けた後の初動対応訓練及びJR、バス、ヘリコプターなど、様々な移動手段を使った避難訓練を実施した。

今年度の訓練は、平成12年以来19年ぶりとなる、国が実施する原子力総合防災訓練の一環として実施し、11月8日から10日までの3日間、総理大臣官邸、内閣府、島根県原子力防災センター、関係自治体、関係機関等との情報連携や、住民避難等の訓練を実施した。

#### ア 船舶を利用した避難訓練

- (ア) 開催日 令和元年7月31日(水)
- (イ) 参加者 訓練担当職員1人、一般参加者9人

#### イ 初動対応訓練

- (ア) 開催日 令和元年11月8日(金)
- (イ) 会場 市役所本庁舎第2応接室

#### ウ 児童引渡訓練

- (ア) 開催日 令和元年11月9日(土)
- (イ) 会場 加茂小学校

#### エ 避難訓練

- (ア) 開催日 令和元年11月10日(日)
- (イ) 参加地区 加茂地区
- (ウ) 参加者 住民約100人

#### オ 避難先及び避難経路確認訓練 実施なし

### (2) 原子力防災講演会の開催

- ア 開催日 令和元年7月7日(日)
- イ 会場 米子市立図書館多目的研修室
- ウ 講師 横浜薬科大学健康薬学科放射線科学研究室教授 加藤 真介 氏

### (3) 米子市原子力発電所環境安全対策協議会の開催

島根原子力発電所の安全対策等を把握し、市民の安全及び健康の確保に資するため、各種の団体職員及び公募により選定した団体の構成員などで協議会を開催している。

- ア 開催日 令和2年2月14日(金)
- イ 会場 市役所本庁舎401会議室